



西日本学生
リーダーズ・スクール

振り返りを活用した教職員のための 効果的な能力開発手法 ～UNGL流振り返り手法～

愛媛大学教育企画室 秦 敬治
山中 亮
愛媛大学教育企画課 林 真輝

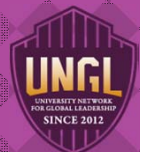
本研修の目的

効果的な振り返り手法を使って、学生、学生リーダー、教員、職員の能力開発手法を修得すること。

本研修の目標

- ① 成長のプロセスをドラマ化する重要性について説明できる
- ② Be Alert(研ぎ澄まされた感性)やCritical Friend (お互いの成長のために批評し合える仲間)の重要性を説明できる
- ③ 持続的な成長環境の重要性を説明できる
- ④ UNGLの振り返り手法の一部を活用できる
- ⑤ ①～④を活用した能力開発プログラムを構築することができる

* ①～④は必須で、⑤は理想的な目標



UNGL事業の説明

【事業の背景】

- 近年、大学生のリーダーシップ養成が地域社会から大きな期待を寄せられている。しかしながら、専門領域に偏らないスタンダードなリーダーシップを体系的に養成する大学プログラムは殆どない。
- 学生の学びと成長を促す取組が、キャンパスの内外を問わず幅広く展開されている傾向はあるものの、慣れ親しんだ仲間との環境下では新たなリーダーやリーダーシップの醸成に限界をもたらす可能性がある。

【本事業の目的】

- 学内外や国内外に新たなフィールドを構築し、
学生の新たなリーダーシップ養成と効果的な学
びや成長を促進するために「立場や世代間、文
化背景の異なりを超えた(異文化交流)」プログ
ラムを展開させる。
- 学生が「学内→国内→2国間→多国間」と段階
的に立場や文化の差異を乗り越えながら、地
域や国際社会で活躍するために求められるリ
ーダーシップを体系的・継続的に養う。

目標達成のための取組

体系的・段階的・
継続的な学生リー
ダーシップ養成の
普及

経験を学びに変え
る省察手法の
標準化

持続的なリーダー
シップ養成のため
の教職員能力開発

リーダーシップを
培うための多様な
フィールドの提供

連携校と協力校(14大学3短期大学)

連携校(12大学・3短期大学)

【＊補助金対象校】

愛媛大学＊
佐賀大学＊
山口大学＊
京都外国語大学＊
京都外国語短期大学＊
京都文教大学＊
広島経済大学＊
香川大学＊
松山大学＊
九州国際大学＊
京都光華女子大学
京都光華女子短期大学
愛知みずほ大学
愛知みずほ短期大学
熊本学園大学

協力校(2大学)

追手門学院大学
山口学芸大学

体系的・段階的・継続的プログラム

STAGE I

Basic Programs（学内・国内での異文化間研修）

- [国内,異年代,異文化]
- 愛媛大学リーダーズ・スクール（E L S）【愛媛大学】，FSDプロジェクト【京都文教大学】
- ピアサポートコミュニティ（P S C）【京都外国語大学】，興動館教育プロジェクト【広島経済大学】
- 香川大学リーダーシップ養成研修【香川大学】，学生リーダーズ・サマースクール，学生リーダーシップ・カンファレンス
- 異文化リテラシー養成講座【松山大学】，新明倫館リーダーズ・スクール【山口大学】
- リーダーズ・ウインタースクール【九州国際大学】，イベントプランナー養成講座【佐賀大学】 他

STAGE II

Global Programs（2国間での異文化間研修）

- [国外,異年代,異文化]
- リーダーシップチャレンジ in 韓国
- リーダーシップ・チャレンジ in サイパン
- ハワイ・サービス・ラーニング・プログラム

STAGE III

Advanced Programs（多国間での異文化間研修）

- [国外,異年代,異文化]
- A P S S A（Asia Pacific Student Services Association）日本大会 企画・運営
- リーダーシップ・チャレンジ in 台湾

全体構成(目標達成に向けた事業計画)

背景

学生に対するリーダーシップ力の醸成は、学士力、社会人基礎力、各大学ディプロマポリシーに限らず、経済界や地域社会からも期待が寄せられている。

現状

専門領域に偏らないスタンダード・リーダーシップを体系的に提供する大学はない。また、慣れ親しんだ仲間との環境下では、その関係を再構築しても、新たなリーダーシップの醸成には限界がある。

ポイント

学内・国内外に新たなフィールドを求め、「立場や世代間、文化背景の異なりを超えた」プログラムを拡充・拡大し、学生に提供する。また、本事業に関わる教職員の能力開発を持続的に行う。

プログラム(事業)の概要

学び続けるリーダー
世界で活躍できる人材へ

段階的異文化間交流



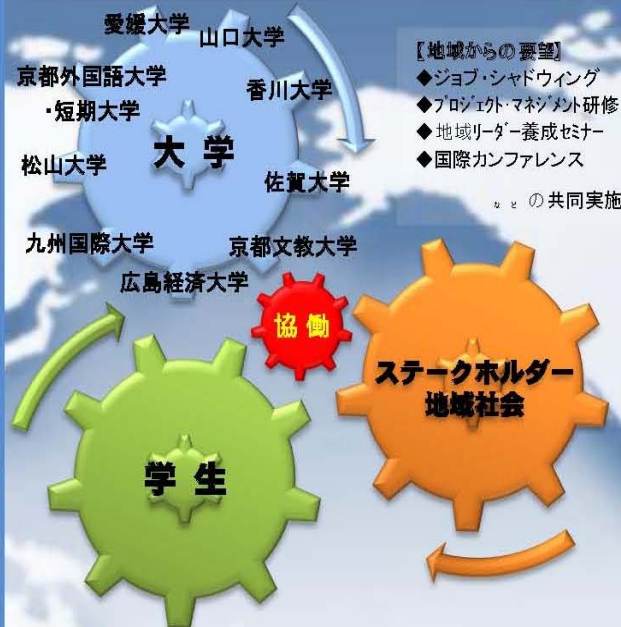
地域や世界との連携

経験を学びに変える省察

持続的なリーダーシップ
養成のための教職員の能力開発

ステークホルダーの要請と関係

地域や国際社会で活躍できる人材育成



連携機関／関連大学コンソーシアム

松山市青年会議所、(財)えひめ女性財団、愛媛県企業経営者勉強会、アジア太平洋学生支援協会(APSSA)、大学教育学会、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SP0D)

期待される成果

体系的・段階的・継続的な
学生リーダーシップ養成
プログラムの確立

リーダーシップ評価指標の開発

経験を学びに変える
省察手法の標準化

持続的なリーダーシップ養成
のための教職員能力プログラムの
確立

リーダーシップを培うための
多様なフィールドの提供



学生
リーダーズ・スクール

共同で開発した授業や教育プログラム

- やりたい仕事創造学校(愛媛県企業経営者勉強会)
 - ステークホルダーの組織と協働して、大学生が中学生に対しキャリア支援のサポートを行う



・合宿形式（1泊2日）

・キャリアサポートを受けた後、自分の考えを発表

共同で開発した授業や教育プログラム

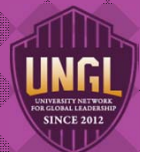
- 女性リーダーシップ養成セミナー(えひめ女性財団)
 - ステークホルダーと協働で内容を吟味し、UNGLに係る教職員によるセミナーを実施する



• UNGLの中で学んだ学生が、社会の人々と交流する

• Net Workづくりに貢献

• 学生と地域の人々の交流のきっかけとなる場



共同で開発した授業や教育プログラム

- リーダーシップ・チャレンジinサイパン
 - Win-Winの関係を構築し、地域貢献をも実現した取組



・ 歴史的背景（戦地）

・ ニーズ
（異文化交流、日本文化など）

・ 活動（人材育成）が地域貢献として
成立



・ 12校での教育実習

・ 150人のホームステイ

・ 多くの人を巻き込んだイベント



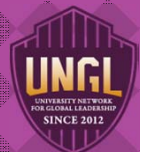
本学生
リーダーズ・スクール

効果

- 学生の成長において、大きなイベントとなり得る経験を実感できる取り組みであり、賛同する大学などが増えてきている。
 - 9大学1短期大学(事業開始時)→14大学3短期大学(現在)
- 費用対効果の高いプログラムの構築が実現(お互いの方向性が一致している)
 - サイパン:15,000円程度+航空運賃(6泊7日・宿泊食事込)
 - 韓国:15,000円程度+航空運賃(4泊5日・宿泊食事込)
- UNGLにおける活動自体が地域に貢献する活動として行われ、大学の今後のあるべき姿(人材育成機関)として地域を巻き込みながら取り組むことができる。

本日のスタイル

本日は、皆さんにUNGL教職員
になったつもりでセミナーを受
講していただきます。



自己紹介

- まずは、名札の作成です。
指示があるまで、記入をしないでください！

自己紹介

- それでは、自己紹介をしましょう！
これから自己紹介の模範とコツの説明をいたします。
自己紹介は、一人1分間の持ち時間です。
- * 聴き方、話し方も重要となります。
ポイントを説明いたします。

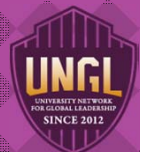
UNGL流 アイスブレイク

UNGLプログラムは、他大学の学生との取り組みが数多くあります。

参加者が早くチームのメンバーとして感じられることがUNGLプログラムでは必要です。

そのためには、参加者に一体感を持たせるアイスブレイクが重要となります。

ポイントは次の3つです。



《一体感を持たせるアイスブレイクの 3つのポイント》

- ①チームメンバー全員で同じ動き若しくは、
連携した動きをする。
- ②ハイタッチや握手等のスキンシップをとる。
- ③声を合わせる。

UNGL流振り返り手法の特徴

①

Story

(ストーリー性)

②

Conflict

(葛藤)

③

Reflection

(振り返り)

④

Awareness

(気づき)

⑤

Challenge,

retry

(再挑戦)



西日本学生
リーダーズ・スクール

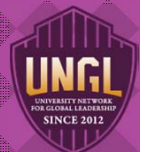
UNGL流振り返り手法の特徴①

* 効果的な振り返りを行うための
ストーリーの重要性(ドラマ:脚本家)

①

Story

(ストーリー性)



① 振り返りのストーリー性を考える

➡どのように成長してもらいたいかのエンディングを先に考え(ドラマの終わり方)、そこからリバーズ(逆転)してストーリーを構築する

仕事、プロジェクト、研修等には、イベントそのもののストーリーと人それぞれのストーリーといった2つのストーリーが存在する。

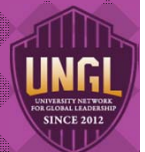
◆仕事、プロジェクト、研修等のストーリー

ドラマ全体のストーリーを描く

◆学生スタッフ・教職員の成長のストーリー

参加学生の目標達成、成長や気づきを得るためのストーリーを描く(UNGLでは学生・教職員ともに成長するためのストーリーを描く)

*どれだけ自然にドラマが起きたかのように見せるかがポイント



西日本学生
リーダーズ・スクール

UNGL流振り返り手法の特徴②

困難や心のモヤモヤ、
葛藤状態を観察し、振り返りの材料
にすることがUNGLの特徴。

①

Story

(ストーリー性)

②

Conflict

(葛藤)

目的・目標と
照らし合わせながら葛藤を生み出し、そのプロセス
をとにかく我慢して観察することに徹する＝絶対に
振り返り前に手や口を出さない！



西日本学生
リーダーズ・スクール

UNGL流振り返り手法の特徴③

ついつい、アドバイスがしたくなる…
ついつい、評価したくなる…

実際にどうやって
振り返りをするの？

①

Story

(ストーリー性)

②

Conflict

(葛藤)

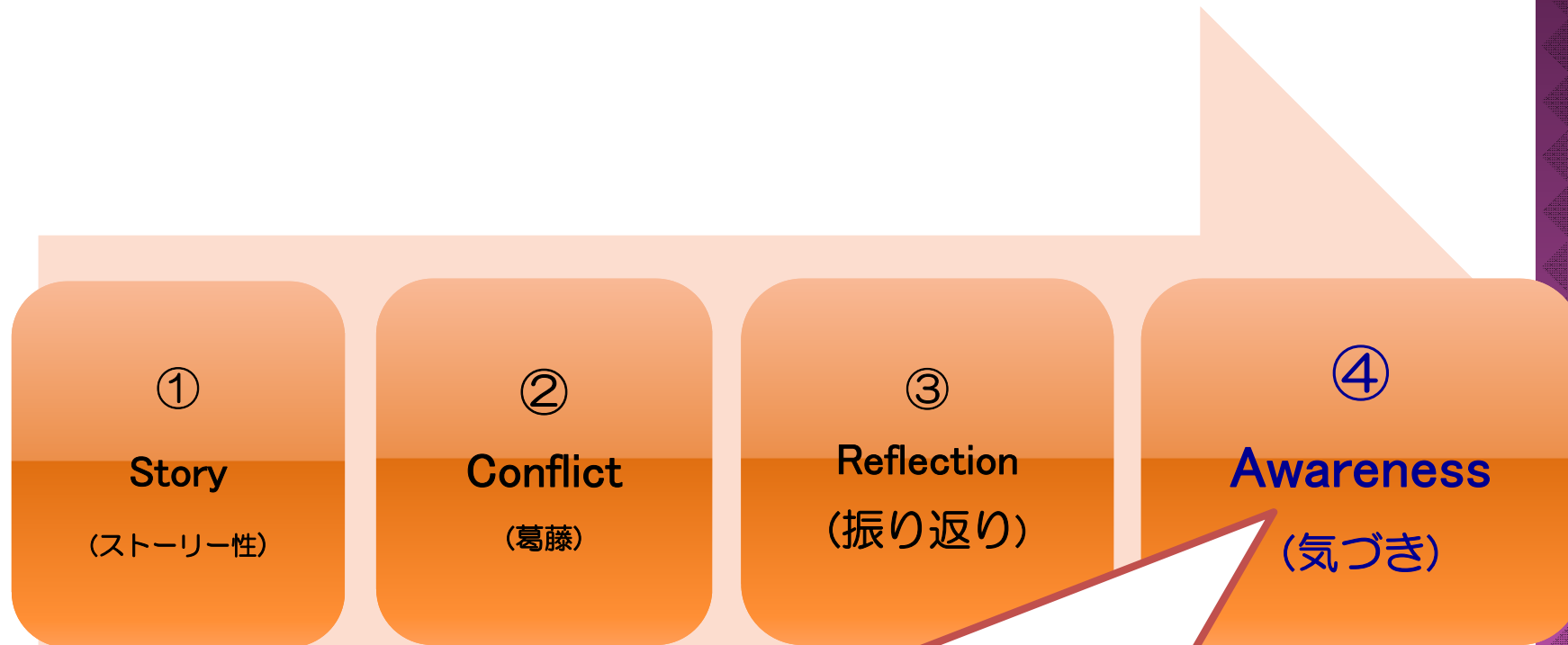
③

Reflection

(振り返り)

参加者の思い・考え・気づきを
引き出すのが、UNGL流！
＝如何に自分自身でできたと思
わせるかがカギ！

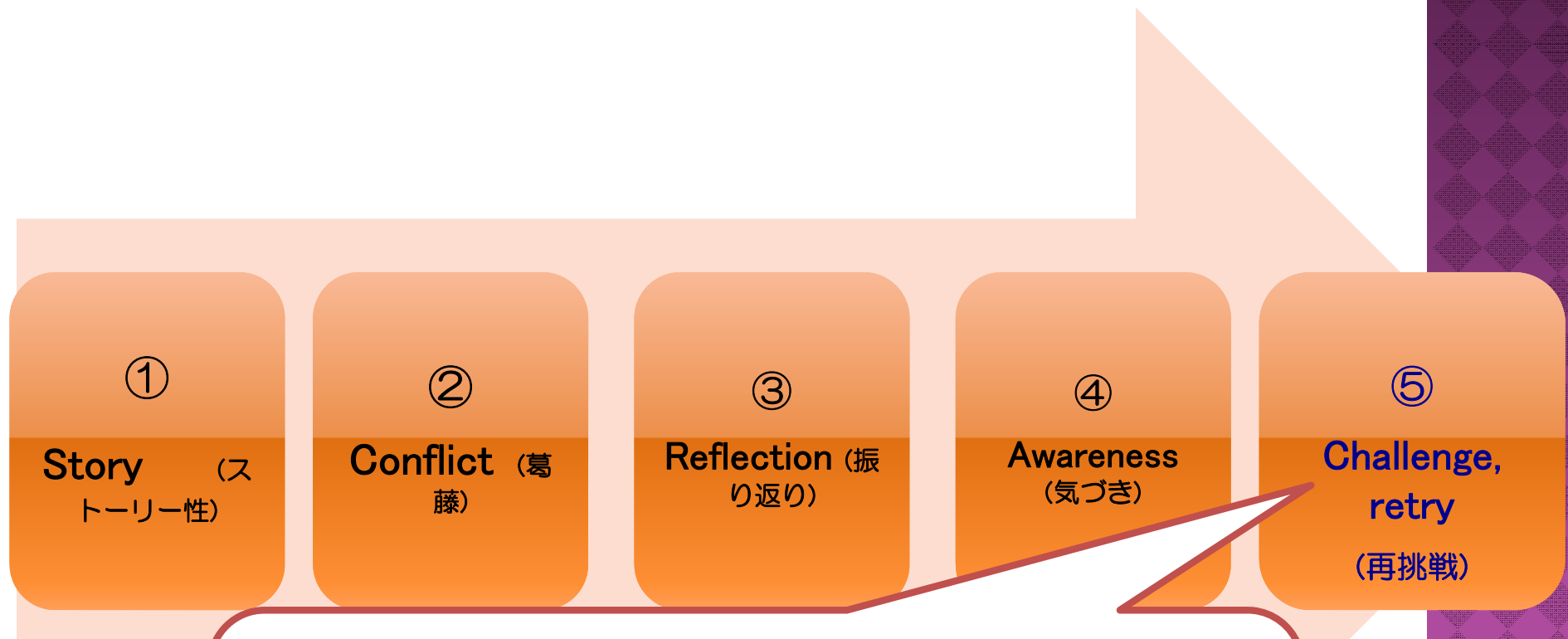
UNGL流振り返り手法の特徴④



参加者の想い・考え・気づきを引き出す(気づきを促す)方法とは？

- ①とにかく観察 (Be Alert = 研ぎ澄ました)
- ②「なぜなぜワーク」
- ③事実に基づいて「クリティカル・フレンド (お互いの成長のために批評し合える仲間)」に！

3. UNGL流振り返り手法の特徴⑤



実践と振り返りにより新しい気づきがあっても、それだけでは人は変わらない。効果的な気づきは、新たな行動により、実際に行うことができ初めて成長に変わる。再調整をし、「できた！」という達成感までのストーリーを構築する必要がある。

ワーク①

振り返り手法を共有しよう

質問

- 何でSPODフォーラムやこのセミナーに来たのですか？
- ①「なぜなぜワークシート」の最初の欄に「質問」を書いてください。
 - ②これから「なぜなぜワーク」をやるので、デモンストレーションを見た後に、指示に従い実践をしてみましょう。
 - ③聴き手は理由、特に修得したいスキルや知識、態度を引き出せるように尋ねてみましょう。

ワーク①

振り返り手法を共有しよう

立場を交替します！

BE ALERT（研ぎ澄まされた感性）

- チームのメンバーに対し、出会ってから今までの時間の中で
 - ・ 素敵だな
 - ・ 長所だな
 - ・ 見習いたいなと思う部分を一人ずつに対し、付箋紙に一つずつ書き出してください。

絶対に一人に最低一つは書き出してください！

BE ALERT（研ぎ澄まされた感性）

チーム全員で共有しましょう！

CRITICAL FRIEND（相手のことを想い、批評し合える仲間）

- まずは、自分自身でこのセミナーに参加して今までの時間で、自分自身の
 - 駄目だな
 - もっとやらなくはないな
 - やる気が出ないな
 - いつもの自分の悪い部分だな
 - 目的を達成していないなと思うようなことを**付箋紙1枚に一つずつ**書きだしてください。

CRITICAL FRIEND（相手のことを想い、批評し合える仲間）

- 次にメンバー全員に対し、このセミナーに参加して今までの時間で、もっと
 - これをやれば
 - これをやらなければ
 - こう思えば
 - こう思わなければさらに、この人は良くなるのにな——、
と思うようなことを付箋紙1枚に一つずつ書きだしてください。

CRITICAL FRIEND（相手のことを想い、批評し合える仲間）

- これからチームでメンバーのために批評しますが、コツがあります！！
- ①口には出さないで良いので、とにかく相手の成長を心から祈りながら話す
- ②①に最も相応しいと思う態度、話し方、身振り手振りを行ってみる
- ③他の人が話している際も①②を全うする

真摯な態度が重要！

＝本気で想えば必ずできる

CRITICAL FRIEND（相手のことを想い、批評し合える仲間）

- 全員が伝え合ったら、今度は先程の伝え方、他の人が話している時の態度等について、メンバー全員から批評してもらいましょう！！

今回の相手の成長を祈り、真摯な態度で接するようにしてみましょう！

成長を促す振り返りのポイント

- ストーリーを描く
- 葛藤を認識させる
- 想いや考えを引き出す
- 気づきを与える(プレゼントする)
- 次の目標や改善にチャレンジさせてみる



5つのプロセスを何度も繰り返す事で、
スパイラルに気づきの質が上がり成長できる！

参考文献

- 青木 将幸 (2014)「リラックスと集中を一瞬でつくるアイスブレイクベスト50」 ほんの森出版
- 池田 光(監修・編)、喜田 菜穂子(著) (2008)「図解きほんからわかるビジネスコーチング」
- 市瀬 博基 (2012)「はじめてのコーチング」 日経文庫
- 芝本 秀徳 (2013)「図解とマンガでわかる リーダーになったら最初に読むプロジェクトを成功させる技術！」 ディスカヴァー・トゥエンティワン

DVD

- UNGL(2014)「学生への振り返り指導ディップス～学生の自発的な気づきと効果的な成長を促すために～」